

くらしと文化部平和・人権課

あなたも、戦争体験を次世代に伝えませんか？**3市（日野市・国立市・多摩市）連携で戦争体験アーカイブ事業を実施します**

戦後75年を経た今、戦争を体験した方の年齢は75歳以上、そのうち当時の記憶がある方は80代半ばとなることから、戦争の体験を語ることができる方が年々少なくなっています。

そこで、日野市・国立市・多摩市で連携し、戦争を体験された方の貴重な戦争体験をパネルや冊子としてアーカイブ（記録・保存）し、次の世代に戦争の悲惨さや、平和の尊さを伝えていく事業を実施します。あなたの貴重な体験をぜひ記録に残してみませんか。

1 事業内容

日野市・国立市・多摩市（以下3市）は、戦争を体験された方の「戦争体験文」を募集し、以下のように文章や音声で「アーカイブ（記録・保存）」することで、市の財産とします。

- (1) 体験文を取りまとめた冊子を作成
- (2) 戦争体験者の肉声を記録保存した「朗読音声再生機器（いわゆる音筆）」をかざすと、生の声で朗読を聞くことができるパネルを作成

※ 上記の成果物を活用して行う啓発事業等は令和4年度以降を予定

※ 本事業は東京都市長会の多摩・島しょ広域連携活動助成金を活用して実施します

2 対象者

3市在住者または所縁のある方（出身者等）

※ 戦争を直接体験された方から聞いた体験（ご家族など）でも可

3 募集テーマ

「次世代に伝えたいあなたの戦争体験」

※ 募集期間は6月1日～8月31日。詳細は別添のチラシ（募集要項）をご覧ください

4 選考

約30名分の証言を林家木久扇氏（落語家）、中満泉氏（国連事務次長・軍縮担当上級代表）、丘修三氏（児童文学作家）、加藤登紀子氏（歌手）、コシノヒロコ氏（ファッションデザイナー）、稲葉茂勝氏（子ども大学くにたち理事長）で構成される選考委員会で選考します。

<別添資料> チラシ（募集要項）

問い合わせ

多摩市くらしと文化部平和・人権課

電話：042（376）8311